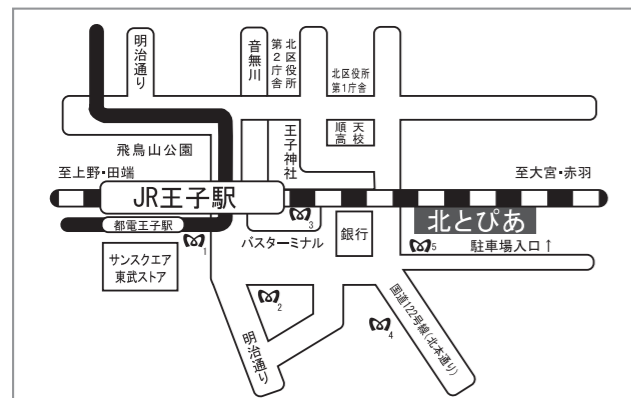


《会場のご案内》 <ご参加を申し込まれた方には詳細な案内図を送付致します>

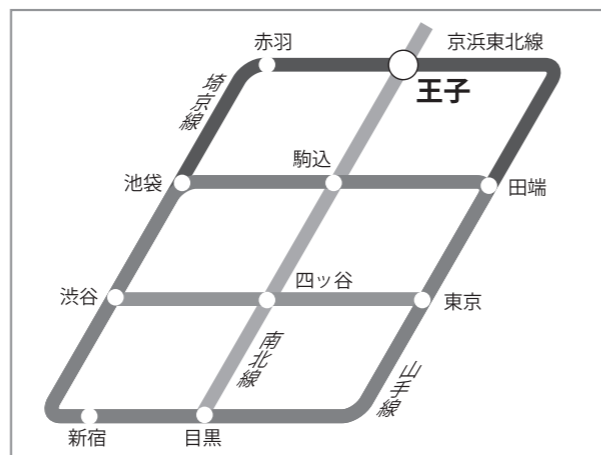


〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1
TEL 03-5390-1100 (フロント)



最寄駅のご案内

JR京浜東北線/王子駅北口より徒歩約2分
東京メトロ南北線/王子駅5番出口直結
都電荒川線/王子駅前駅より徒歩約5分



鉄道のご案内

JR京浜東北線で東京駅から約25分
新宿駅から約40分
(山手線田端駅で京浜東北線に乗換えの場合)
地下鉄南北線で目黒駅から約35分

※2020年(第60回)以降、温泉保護・管理研修会のお知らせを当財団のホームページで行う予定にしています。

つきましては、2020年以降もこれまで通り、書面でののご案内をご希望の方は温泉保護・管理研修会事務局までご連絡下さい。

第58回 温泉保護・管理研修会

主催 公益財団法人 中央温泉研究所
後援 環境省

公益財団法人 中央温泉研究所

平成30年7月西日本豪雨の被災地・被災者の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

7月は日本各地で猛暑の直撃に見まれ、気象庁が「命の危険のある暑さ、一つの災害であると認識している」と云う警鐘を発表する始末です。

国内の景気は前年に引き続き回復基調といわれていますが、温泉地では厳しい環境は余り変わっていない様子です。

温泉地の活性化をめざして、環境省は「新・湯治」を提案しています。昔から温泉には「保養」「休養」「療養」の三養ありといわれますが、その他に多様な、歴史、文化、環境、食、遊びなど魅力が一杯です。そこで、現代のライフスタイルに合った温泉地の過ごし方の提案となりました。

今年の研修会では、温泉医学、温泉地学、温泉工学、温泉化学、温泉法学、地球科学、衛生管理といった基礎的な講義の他に国の温泉に対する新しい取り組み、温泉の歴史、文化、安全な入浴法等多様な講演をお願いいたしました。

現地見学会は、日本で一番知られている温泉地である熱海の新しい魅力を探ることにいたしました。

会場：北とぴあ ペガサスホール(15階)【案内図別掲】
日時：平成30年10月16日(火) 13時00分より17時30分まで
" :平成30年10月17日(水) 9時20分より16時20分まで

現地見学会：平成30年10月18日(木) 静岡県 熱海温泉
〔自由参加〕 JR熱海駅 集合 9時50分(予定) 解散 13時30分(予定)
〔定員約30名〕 熱海の街歩きを企画しました。湯けむりを肌で感じてください。

※徒歩でおよそ1時間半程度の移動を予定しておりますので歩きやすい靴・服装でお願いします。

参加費：26,000円(テキスト代、消費税含む)
現地見学会費：3,000円(昼食代、消費税含む) 現地までの旅費は各自負担
申込先：参加費26,000円、現地見学会に参加の方は会費3,000円を合わせて納入し、参加申込書の現地見学会の欄に○を明記の上、下記にお申し込み下さい。
〒114-0023 東京都北区滝野川三丁目56番9号
公益財団法人 中央温泉研究所 温泉保護・管理研修会係
参加費は郵便振替、銀行振込をご利用下さい。

振込先：郵便振替：00150-9-665641 温泉保護・管理研修会
銀行振込：みずほ銀行高田馬場支店 普通預金 2403036
公益財団法人 中央温泉研究所 理事長 長島秀行
上記いずれの場合でも、郵便局、銀行の受領書のコピーを必ず同封して下さい。
原則として領収書の発行はいたしません。受領書を以って領収書に換えさせていただきます。
※請求書、領収書、その他書類が必要な場合は前もって研修会係迄お申出下さい。

その他：I. 温泉用機器、機材展示を予定しています
II. 温泉に関するご相談は随時対応させていただきます

プログラム

1. 温泉行政について

講師：環境省自然環境局 自然環境整備課長 池田 幸士
環境省では、温泉法の運用を通じて「資源保護」、「可燃性天然ガスによる災害防止」、「公衆衛生の担保」及び「国民保養温泉地の指定」等を実施しています。また、近年は温泉地活性化に向けた取組を実施しており、これらの施策について紹介します。

2. 環境省「新・湯治」効果測定調査プロジェクト

講師：一般財団法人 日本健康開発財団温泉医科学研究所所長／東京都市大学教授 早坂 信哉
平成29年度の環境省「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」では、ストレス社会、高齢化社会、ワークライフバランス等社会問題の解決のため「新・湯治」として温泉地の活用が提言されました。「新・湯治」の推進にはその効果測定が重要であり、全国温泉地の協力が欠かせません。調査の考え方と調査への参加方法をお伝えします。

3. 温泉法で定められた温泉再分析について

講師：公益財団法人 中央温泉研究所 第1部 主任研究員 滝沢 英夫
平成19年4月に温泉法が改正され、温泉を公共の浴用等に供する者は、政令で定める期間（前回の温泉成分分析を受けた日から10年以内）に再分析を実施し、当該結果に基づき掲示の内容を変更する必要があります。今回再分析についてその内容や注意点についてお話いたします。

4. 「火山・地熱・温泉現象の科学的理解と適切な熱利用」

講師：特定非営利活動法人 地熱情報研究所代表 九州大学名誉教授 江原 幸雄
火山・地熱・温泉は自然現象という観点から見るときわめて強く関連しており、一面的にではなく、科学的に総合的に理解することが重要である。そのような理解に基づいて、温泉利用・地熱発電利用の適切な利用（持続可能な利用）について事例に基づきながら紹介します。

5. 「江戸中期の温泉旅行案内 ー東京国立博物館蔵古地図より」

講師：奈良女子大学 古代学学術研究センター研究員 樽井 由紀
東京国立博物館に「有馬郡湯本町之図」という絵図が残っています。「大日本帝国図書印」「帝国博物館図書」という所蔵印とともに「明治十三年購求」の印記がありますが、その由来はよくわかりません。絵図と裏書の内容を読みときながら、江戸時代の有馬温泉の湯女についてお話します。

6. 入浴事故を防ぎ安全・快適に温泉を楽しむ未来社会とは

講師：東海大学 海洋学部 教授 斉藤 雅樹
入浴事故死は年間19,000人を超え、交通事故死の5倍にのぼります。多くの「不適切な入浴」が原因と考えられ、その究明と対策が急がれます。入浴者の申告による新たなエビデンス取得・評価や、ウェアラブル端末で生体情報と浴水情報を自動的に取得し警告を発するシステムの開発など、未来に向けた先進的な取り組みを紹介します。

7. 温泉工学 腐食に対する一般的な対応事例

講師：公益財団法人 中央温泉研究所 第3部 主任研究員 佐久間 元
大洋シーアイエス株式会社 代表取締役 藤田 健
エキスパート防錆管理士 城村 真衣
近年では供給施設の老朽化による温泉供給の停止が度々起こっています。老朽化への防止策として日常の維持管理の手法の紹介と腐食に対する一般的な対応事例をお話させていただきます。

8. 日本の温泉の歴史から学ぶ

講師：温泉評論家／日本温泉地域学会 会長 石川 理夫
歴史の古さを誇る温泉地や温泉旅館は少なくない。しかしその多くは、出典や根拠のない「開湯千〇〇年」といった伝承などに過ぎず、その検証も怠っている。多くの外国人観光客も惹かれる日本のonsenの歴史や文化を《資産》として再評価、発信すべき今日、日本の温泉の歴史や特色を正しく知ることがまず必要であると考えます。

9. V字回復と言われる温泉地「熱海」の持続可能なまちづくり

講師：NPO法人 atamista 代表理事 株式会社 machimori 代表取締役 市来 広一郎
数年前までは衰退し続けた温泉地、熱海はいまV字回復と言われ復活はじめています。観光客の増加だけでなく、いかに持続可能な豊かな街としていけるのか。まず地元の人から熱海のファンを創り、また空き店舗だらけだった熱海を中心市街地の再生など、新たな人を呼び込み街を再生するための取り組みをお話します。

10. 温泉資源の保護と管理

講師：公益財団法人 中央温泉研究所 第2部 主任研究員 大塚 晃弘
温泉資源の適正利用は、モニタリングによる実態把握により、地域特性を把握し、その情報を広く共有することで可能となります。本講演では、温泉の測定方法や結果について事例を参考に説明いたします。

11. レジオネラ属菌の迅速遺伝子検査について

講師：株式会社ファスマック 原口 浩幸
日々の浴槽水のレジオネラ属菌のモニタリングにおいては培養法は結果の判定までに時間を要するが、迅速に結果を得られる遺伝子検査は有効な手法である。PCR法やLAMP法は特別な測定器を用いるが、パルサー法は特別な測定器を必要とせず、目視判定が可能なため、より現場で近い状況で日々のレジオネラ属菌のモニタリング検査が可能である。今回は迅速遺伝子検査法の現状について紹介します。

12. 温泉法学 ー温泉に関する権利ならびに保護対策と効果の表示に関する課題ー

講師：流通経済大学法学部 講師 布山 裕一
温泉について直接または間接的に関連する主要な法規を紹介し、温泉に関連する法体系を解説する。また温泉法の運用と温泉行政に関する課題に触れ、温泉の権利についての形態を分類し、更に温泉資源の保護対策に関する課題と温泉の効果に関する表示についての課題について触れます。

研修会参加者の出欠確認と修了証書について

- 研修期間の2日間共に出欠確認をさせていただきます。
- 原則として、大幅な遅刻、早退の方には修了証書をお渡し出来ません。
- 修了証書は2日目の講義終了後、受講証と交換でご本人にお渡し致します。

第58回温泉保護・管理研修会参加申込書

勤務先名		郵便番号	
所在地		TEL	
参加者名	役 職 名	フリガナ名	現 地 見 学 会
			参加の方は○をご記入下さい。
申込方法	郵便振替 00150－9－665641 温泉保護・管理研修会		
	銀行振込 みずほ銀行高田馬場支店 普通預金 2403036 公益財団法人 中央温泉研究所 理事長 長島秀行		
	但し現金の場合は現金書留		

上記の通り参加費26,000円を添えて申込みます。(ただし、欠席の場合の参加費は返金できませんのでご了承下さい)
現地見学会費3,000円。

【申込先】 〒114-0023 東京都北区滝野川三丁目56番9号
平成30年 月 日

振込の場合は、郵便局、銀行の受領書のコピーを必ず同封してください。
現地見学会参加・不参加を必ず記入してください。

会場案内図は裏面にあります。

※本申込書は、研修会事務手続きおよび研修会に係る連絡業務に利用させていただきます。